

# 東京都立橋高等学校令和5年度 教科 科目 年間授業計画

教科 科： 保健体育科目： 体育 単位数： 2単位

対象学年組： 第1学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（大修館）

使用教材：（）

教科の目標：①基礎的体力と運動技能の向上を図る。②健康・安全についての理解を深める。③集団における自己の役割を自覚して、協力及び責任ある行動をする。④創意工夫や努力をし、自主的・主体的に運営する能力を身につけ、生涯に亘ってスポーツを親しむ態度を身につける

- 【知識及び技能等】 ・ ルールや知識を身に付ける。 ・ 技能向上 ・ 記録更新を目指す。 ・ 体力の向上を目指す。
- 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・ 運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。 ・ 生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。

【A：知識及び技能】	【B：思考力、判断力、表現力等】	【C：学びに向う力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルールや知識を身に付ける。</li> <li>・ 技能向上 ・ 記録更新を目指す。</li> <li>・ 体力の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。</li> <li>・ 運動の仕方を考え、工夫し活動ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。</li> <li>・ 生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。</li> </ul>

単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
単元名・・・陸上競技 A)運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す B)自己のベストタイムに挑戦する C)他者と協力し生涯体育への導入にする	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
単元名・・・バレーボール・ソフトボール A)ルールを理解しプレーができる B)基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C)他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バレーボール ・パス、レシーブ、スパイク、ブロック ・簡易ゲーム ◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎	バレーボール ソフトボール 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	11
単元名・・・水泳 A)水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる B)各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる C)他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	水泳 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
定期考査						23

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
2 学 期	単元名・・・水泳 A水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる B各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる C他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	水泳 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 <b>【知識】</b> ：AできたBややできたCできなかった ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 <b>【思考】</b> ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる <b>【態度】</b> ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3
	単元名・・・ソフトボール・バスケットボール・バドミントン Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎 ◎バスケットボール ・パス、ドリブル、シューティング、ドリブルシュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム ◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブクリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	ソフトボール・バスケットボール・バドミントン 評価方法：実技試験、ゲーム観察 <b>【知識】</b> ：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 <b>【思考】</b> ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる <b>【態度】</b> ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	20
	単元名・・・陸上 ・自己の体力向上を目指す ・自己のベストタイムに挑戦する ・生涯体育への導入にする	◎陸上競技 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 <b>【知識】</b> ：AできたBややできたCできなかった ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 <b>【思考】</b> ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる <b>【態度】</b> ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	4
	定期考査						27

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
3 学 期	単元名・・・陸上競技 A運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す B自己のベストタイムに挑戦する C他者と協力し生涯体育への導入に	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3
	単元名・・・バドミントン Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	バドミントン 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	7
	単元名・・・サッカー Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎サッカー ・パス、ドリブル、シュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム	サッカー 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	4
	体育理論 Aスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。 Bスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 Cスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	・指導事項 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 ・教材 教科書・保健ノート ・一人1台端末の活用 等 機器を活用した調べ学習	ICT 【知識・技能】AできたBややできたCできてない スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査						16

令和5年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科：保健体育科 科目：保健 単位数：1 単位 対象：(第2学年 A組～F組) (第\_\_学年 選択)

教科担当者：

使用教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)	使用副教材等	
-------	------------------	--------	--

	指導内容	具体的な指導目標	【評価の観点】 (方法)	予定 時数
一 学 期	1・思春期と健康	(ア) 思春期における体の変化について説明できるようにする。 (イ) 思春期の心の発達にかかわる健康課題が説明できるようにする。	各項目において以下の観点で総合的に評価する。 【各項目】 思春期における体の変化、思春期の心の発達にかかわる健康課題について/性意識の男女差、性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて/妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて/家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について/心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について/年をとるとともなう心身の変化、中高年期の健康を支える社会的な取り組みについて/医薬品の正しい使用法、医薬品の安全性を守る取り組みについて/さまざまな医療機関の役割、医療サービスについて/保健行政の役割、保健サービスの活用について/民間機関・国際機関などの保健活動や対策について/大気汚染の原因とその健康影響、地球規模の環境問題について/水質汚濁および土壌汚染の原因とその健康影響について/こんちの環境汚染の特徴、環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みについて/ごみ処理の現状と課題、安全で質のよい水を確保するためのしくみと課題について/行政、生産・製造者による食品の安全のための対策、食品の安全のために私たち消費者がおこなうべきことについて/働く人の健康問題、労働災害の防ぎ方について/職場がおこなう健康増進対策、余暇の大切さと活用の仕方について/  【関心・意欲・態度】 各項目において、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。授業に向かう参加態度、自らの生活に積極的に活かそうとしているかまた、プレゼンテーションでの発表の様子や傾聴の態度を評価する。(ノート、レポート、授業&プレゼンテーションの観察)  【思考・判断】 各項目において、資料等で調べたことをもとに、課題を見ついたり、整理したりするなどして、それらを説明したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。(ノート、レポート、授業&プレゼンテーションの観察)	2時間
	2・性への関心・欲求と性行動	(ア) 性意識の男女差を、具体例をあげて説明できるようにする。 (イ) 性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例を理解できるようにする。		2時間
	3・妊娠・出産と健康	(ア) 妊娠・出産の過程における健康問題について説明できるようにする。 (イ) 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスを理解できるようにする。		2～3時間
	4・避妊法と人工妊娠中絶	(ア) 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できるようにする。 (イ) 人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について説明できるようにする。 (ウ) 心身の発達と結婚生活の関係について説明できるようにする。		2～3時間
	5・結婚生活と健康	(ア) 結婚生活を健康的に送るための必要な考え方や行動をあげることができるようにする。		1時間
二 学 期	◎ 夏季休業中に自ら選択した保健の分野において自由研究を行い、レポートを作成する。そのレポートを元に、プレゼンテーション発表を行う。 様々な分類を学ぶとともに、プレゼンテーションを通して、問題解決能力、発言力を育成する。	(ア) 自らの研究成果を公表することで、全体への知識を深めさせる。 (イ) 研究の成果を第三者に還元ができるようにする。 (ウ) 研究発表に対する評価、意見、指摘をすることができるようにする。 (エ) 発表を通じて個人では不可能な知的財産を膨らませることができるようにする。 (オ) 個人のプレゼンテーション能力を高めるとともに、その評価ができるようにする。	【関心・意欲・態度】 各項目において、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。授業に向かう参加態度、自らの生活に積極的に活かそうとしているかまた、プレゼンテーションでの発表の様子や傾聴の態度を評価する。(ノート、レポート、授業&プレゼンテーションの観察)  【思考・判断】 各項目において、資料等で調べたことをもとに、課題を見ついたり、整理したりするなどして、それらを説明したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。(ノート、レポート、授業&プレゼンテーションの観察)	9～10時間
	◎ 保健編・体育編の自由研究発表生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てると共に、第三者に発表することで、これを還元していく。 健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			
	6・中高年期と健康	(ア) 中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みについて理解できるようにする。		1時間
	7・医薬品とその活用	(ア) 医薬品の正しい使用方法について説明できるようにする。 (イ) 医薬品の安全性を守る取り組みについて具体例を示すことができるようにする。		1時間
	8・医療サービスとその活用	(ア) さまざまな医療機関の役割について説明できるようにする。 (ア) 医療サービスを受ける時の留意点をあげることができるようにする。		1時間
	9・保健サービスとその活用	(ア) 保健行政の役割について説明できるようにする。 (イ) 保健サービスの活用例をあげて説明できるようにする。 (ウ) 民間機関・国際機関などの保健活動や対策について、具体例を挙げて説明できるようにする。		1時間
	10・さまざまな保健活動や対策	(ア) 2学期の授業を振り返り、整理する。		1時間
	11. まとめの活動			0～1時間

	指導内容	具体的な指導目標	【評価の観点】 (方法)	予定 時数
三 学 期	1・大気汚染と健康	(ア) 大気汚染の原因とその影響を説明できるようにする。 (イ) 地球規模の環境問題について、例をあげて説明できるようにする。	【知識・理解】 各項目において、 <u>基礎的な事項を理解している。</u> (ノート、レポート、授業&プレゼンテーションの観察、小テスト・考査)	1 & 2 1時間
	2・水質汚濁、土壌汚染と健康	(ア) 水質汚濁の原因とその健康影響を説明できるようにする。 (イ) 土壌汚染の原因とその健康影響を説明できるようにする。		
	3・環境汚染を防ぐ取り組み	(ア) こんにちの環境汚染の特徴について説明できるようにする。 (イ) 環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みについて例をあげて説明できるようにする。		3 & 4 1時間
	4・ごみの処理と上下水道の整備	(ア) ごみの処理の現状や、その課題について説明できるようにする。 (イ) 安全で質のよい水を確保するためのしくみと、課題を説明できるようにする。		1時間
	5・食品の安全を守る活動	(ア) 行政や生産・製造者による食品の安全のための対策について、例をあげて説明できる。 (イ) 食品の安全のため、消費者がおこなうべきことを例をあげて説明できる。		
	6・働くことと健康 7・働く人の健康づくり	(ア) 働く人の健康問題が、どのように変化してきたかを説明できる。 (イ) 労働災害の防ぎ方について説明できる。		6 & 7 1時間
	8・まとめの活動	(ア) 職場がおこなう健康増進対策について例をあげて説明できる。 (イ) 余暇の大切さと活用方法の仕方について説明できる。		
		(ア) 1年間の授業を振り返り、整理する。		

# 東京都立橋高等学校令和5年度 教科 国語 科目 文学国語 年間授業計画

教科：国語科 科目：文学国語 単位数：2単位

対象学年組：第2学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：(大修館書店『文学国語』)

使用教材：(パーフェクト常用漢字、ビジュアルカラー国語便覧、準拠ワーク)

教科の目標：作品を特徴づける「言葉」を根拠として作品を読み取り、読み取った内容に関して自分の意見を持ち、適切に表現する能力を身につけさせる。

- 【知識及び技能等】 ( 読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。 )
- 【思考力・判断力・表現力等】 ( 本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。 )
- 【主体的に学習に取り組む態度】 ( 進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。 )

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。	本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。	進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当
				○	○	○	時数
1 学期	単元名…「想像と共感」 【知識】：語句の意味を理解している。 【思考】：筆者の豊かな感受性について理解している。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「十八歳の選択」等 筆者の心情をやメッセージを的確にとらえる。 比喩表現に注目して読み、表現を味わう。 自身の人生における「選択」について考える。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	10
	単元名…「現代への視点」 【知識】：小説の手法を理解している。 【思考】：本文を根拠として解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「旅する本」等 ・登場人物の言動から読み取れる心情について理解する。 ・物語展開や場面構成について学び、繰り返しと変化に着目して小説読解の方法を身につける。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	10
	単元名…「韻文の世界」 【知識】：・視覚的・聴覚的な工夫について理解している。 【思考】：背景や表現の効果について考えている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「永訣の朝」等 ・リズムを味わい、作者の工夫について考察することで、豊かな表現力を磨く。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	2
	定期考査			○	○		2
2 学期	単元名…「語りの世界」 【知識】：語句の意味を理解している。 【思考】：本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「山月記」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
	単元名…「想像を広げる」 【知識】：語句の意味を理解している。 【思考】：本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「山椒魚」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「視点を広げる」 【知識】：語句の意味を理解している。 【思考】：本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「私の日本住居論」等 ・幅広い視点からの文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深める。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
	単元名…「視点を広げる」 【知識】：語句の意味を理解している。 【思考】：本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「月の誤訳」等 ・翻訳の視点から我が国の言語文化の特質について理解を深める。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	定期考査			○	○		2
3 学期	単元名…「記憶の継承」 【知識】：語句の意味を理解している。 【思考】：本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「ころも」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「記憶の継承」 【知識】：語句の意味を理解している。 【思考】：本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「ころも」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 図説 情報 I ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。

【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報や情報メディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。</li> <li>情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。</li> <li>情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。</li> <li>情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察している。</li> <li>情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。</li> <li>情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。</li> </ul>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 序章 情報社会と私たち 【知識及び技能】 ・IoT、人工知能（AI）の意味とその活用について理解する ・情報の信憑性、信頼性の意味を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報化の光と影について理解した上で、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会における様々な問題点を理解した上で、情報モラルについて考え、自らの行動を振り返り、改善しようとする。	・情報や知識、IoT、人工知能（AI）について学ぶ。 ・情報化による利便性（情報化の「光」）と危険性（情報化の「影」）について学ぶ。 ・匿名性の特徴、ネットワーク上のルールとマナー、情報の受信者・発信者としてのモラルと責任について学ぶ。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	5
B 単元 1章 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 ・問題の構成要素の把握や制約条件の整理など、問題の明確化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の身近な事例に対し、問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い、目標の設定を考えて表で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大切な情報を守るための暗号の利用など、情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。	・問題解決の意味を理解し、問題解決の流れについて学ぶ。 ・表計算ソフトによる情報を数値化したり、視覚化する方法について学ぶ。 ・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利（プライバシー権、肖像権、パブリシティ権）について学ぶ。 ・知的財産権の概念（知的財産権の分類、産業財産権や著作権の構成）について学ぶ。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
C 単元 2章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 ・メディアの機能と特性と分類について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インターネットを利用したコ	・コミュニケーションの定義、手段、形態について学ぶ。 ・ネットワーク上のコミュニケーションのメリットとデメリット（即時性、利便性、保存性、匿名性）について学ぶ。 ・デザインの基本、色彩、ユニ	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等				

1 学期

	<p>コミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい報告書やレポートを作成するために、文書の作成やレイアウトについて自ら工夫をし、粘り強く取り組む。</li> </ul>	<p>バーサルデザイン、アクセシビリティについて学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションにおけるコンテンツの作成について学ぶ。</li> </ul>					13	
	定期考査							1
2 学 期	<p>D 単元 3章 情報とコンピュータ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードウェアとソフトウェアの学習に、興味・関心をもって取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アナログ・デジタル・デジタルデータの特徴（情報の正確な再現・情報の容易な加工）について学ぶ。</li> <li>・コンピュータ内部での数値（2進数、16進数）の表現について学ぶ。</li> <li>・ハードウェアとソフトウェアの違い、コンピュータ本体の働き（五大装置）・OSとアプリケーションソフトの関係について学ぶ。</li> </ul>	<p>【知識】：考査・小テスト等</p> <p>【思考】：考査・プリント等</p> <p>【態度】：プリント・提出物・出欠等</p>					12
	<p>E 単元 4章 アルゴリズムとプログラミング</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズムの基本構造をフローチャートで作成する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造を利用した画像表示のプログラムを作成する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例題や「並べ替え」、「じゃんけんゲーム」など作成したプログラムについて、自己評価および相互評価を行い、効率的なプログラムの改善に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズムの基本構造（順次、選択、繰り返し）、プログラム構造について学ぶ。</li> <li>・プログラムにおける変数の役割について学ぶ。</li> <li>・配列やリストを使って効率よく数値を処理できるプログラムを作る。</li> </ul>	<p>【知識】：考査・小テスト等</p> <p>【思考】：考査・プリント等</p> <p>【態度】：プリント・提出物・出欠等</p>					10
	<p>F 単元 5章モデル化とデータの活用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーションの手順や注意点、シミュレーションツールについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルの分類（表現形式による分類、対象による分類）に関し、身のまわりの具体的な事例で説明する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーションの手順について、具体的な事例で説明する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決のためのデータの分析をする。</li> <li>・収集したデータなどを表計算ソフトウェアを利用して統計処理を行い、グラフ化などをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル化とシミュレーションの手順や分類について学ぶ。</li> <li>・データの種類と、データの活用の手順や方法について学ぶ。</li> </ul>	<p>【知識】：考査・小テスト等</p> <p>【思考】：考査・プリント等</p> <p>【態度】：プリント・提出物・出欠等</p>					10
	<p>G 単元 5章モデル化とデータの活用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット通信の規約であるTCP/IPやパケットの流れについて理解している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IPアドレス、ドメイン名、URL、DHCPサーバ、HTMLなどの意味や働きについて理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットに接続するための機器と通信の規則について学ぶ。</li> <li>・Webページや電子メールの仕組みについて学ぶ。</li> <li>・生活に欠かせない情報システムについて学ぶ。</li> <li>・データベースの機能と役割・活用事例について学ぶ。</li> <li>・情報の安全を守るために、組織が行っている情報セキュリティ</li> </ul>	<p>【知識】：考査・小テスト等</p> <p>【思考】：考査・プリント等</p> <p>【態度】：プリント・提出物・出欠等</p>					9

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットのプロトコル (TCP/IP) について、各階層の役割について、電話などの例をあげて説明する。</li> <li>・データベースの活用事例やデータモデルの違いについて、身近な例をあげて説明する。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット活用について、個人あるいはグループで調べるなどの学習活動を行い、問題の解決に取り組む。</li> <li>・安全に情報を送受信する仕組みの理解のもとに、情報セキュリティに対する対策を行い、改善を試みる。</li> </ul>	<p>か行っている情報セキュリティ対策について学ぶ。</p>					合計
							70

東京都立橋高等学校令和5年度 教科 科目 年間授業計画

教科：外国語 科目：英語コミュニケーション II 単位数：3単位

対象学年組：第2学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（ ALL Aboard! II（東京書籍） ）

使用教材：（ All Aboard! II WORKBOOK、プレッピングリッシュ、コーパス1800 ）

教科の目標：

【知識及び技能等】 （英語の音声や語彙、表現、文法の理解を深め、その知識をコミュニケーションの場で活用する。）

【思考力・判断力・表現力等】 （英語で情報や考えなどの概要や要点を理解し、それを活用して表現したり伝える。）

【主体的に学習に取り組む態度】 （英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。自学自習の態度を養う。）

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
英語の音声や、基礎的な語彙・表現・文法に対する理解を深める。その知識を活用し、簡単な意思疎通ができる。	平易な英語で書かれた日常的な話題や社会的な話題について、文化的背景や、概要・要点を理解する。これらを活用して、簡単な英語で表現したり伝えることができる。	知っている単語、表現を使って積極的に英語を使おうとする態度を養う。自学自習する態度を養う。

単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数	
1 学期	単元名・・・Lesson 1 A Colorful Island ・関係代名詞 what 【知識】:関係代名詞 what 【思考】:海外で行ってみたい場所 【態度】:行ってみたい国やその理由について話す	関係代名詞 what を用いた文の形・意味・用法の理解し、それをつかって伝える技能を身につける。世界の行ってみたい国やその理由について伝える。イタリアのブラーノ島を訪れた作者の旅日記を読み、自分についても表現する。		○	○	○	13
	単元名・・・Lesson 2 With the Beatles 【知識】:比較表現 more, the most 【思考】:ビートルズについて 【態度】:人気のある人物について英語でのべる	比較表現 (more, the most) を用いた文の形・意味・用法を理解し、比較表現を用いて表現する技能を身につける。祖母の思い出のビートルズの曲をラジオ番組にリクエストするサムを通して、世代を超えて人気の人物について理解する。		○	○	○	14
	単元名・・・ 【知識】: 【思考】: 【態度】:						
	定期考査 中間考査・期末考査		○	○			
2 学期	単元名・・・Lesson 3 Wild Men 【知識】: it の用法 【思考】:世界各地のお祭り 【態度】:身近な行事について英語でのべる	it の用法を用いた文の形・意味・用法を理解し、it を用いて表現する技能を身につける。世界各地のお祭りにおいて人や動物などの衣装をつけてパレードする「ワイルドマン」について理解する。異文化のみならず自国文化への理解も深める。身近な行事について、英語で紹介することができる。		○	○	○	13
	単元名・・・Lesson 4 Little Hero 【知識】:関係疑問文 【思考】:ハチドリの特徴と習性 【態度】:好きな物語を英語で伝える	関係疑問文を用いた文の形・意味・用法を理解し、to不定詞を用いて表現する技能を身につける。最小のハチドリの特徴と習性について理解する。ハチドリの民話を読み、メッセージを読み取る。		○	○	○	14
	単元名・・・ 【知識】: 【思考】: 【態度】:						
	単元名・・・ 【知識】: 【思考】: 【態度】:						
	定期考査 中間考査・期末考査		○	○			
3 学期	単元名・・・Lesson 5 Special Makeup in Kabuki 【知識】:to 不定詞を含む表現 【思考】:新しい形の歌舞伎 【態度】:日本の伝統文化について、英語で説明する	to 不定詞を含む表現：to 不定詞を含む表現を用いた文の形・意味・用法を理解し、技能を身につける。歌舞伎が形を変えて、海外の人々や若い世代にとって親しみやすいものになっていることについて理解する。また限取の特徴と意味について学ぶ。		○	○	○	15
	【知識】: 【思考】: 【態度】:						
	定期考査 期末考査		○	○			

東京都立橘高等学校令和5年度 教科 家庭 科目 家庭基礎 年間授業計画

教科： 家庭科 科目： 家庭基礎 単位数： 2単位

対象学年組： 第2学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（ 図説 家庭基礎 ）

使用教材：（ ）

教科の目標：

【知識及び技能等】 （生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解している。）

【思考力・判断力・表現力等】 （生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決しようとしている。）

【主体的に学習に取り組む態度】 （自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。）

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解している。	生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決しようとしている。	自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学 期	単元名・・・青年期の自立と家族 【知識】：青年期の課題を理解している。 【思考】：課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	青年期の生き方について自立の観点から学習する。 家族の形態や世帯構成の変化について学習し、現代の家族の課題について考える。 家族に関する法律を知り、その理念や現在の動きについて学習する。	○	○	○	8
	単元名・・・子どもの生活と保育 【知識】：乳幼児に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考】：課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	妊娠の成立から誕生までを理解し、その重要性を理解する。 子どもの発達について、学習する。 子どもの生活習慣と健康について、理解する。	○	○	○	8
	単元名・・・衣生活と健康 【知識】：衣服の機能と着装について理解している。 【思考】：課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：衣生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	衣服素材の種類と特徴について学習する。 洗濯の種類と方法、洗剤のはたらきについて学習する。 被服製作実習を通して技術を身に付ける。	○	○	○	6
	定期考査		○	○		1
2 学 期	単元名・・・衣生活と健康 【知識】：衣服の機能と着装について理解している。 【思考】：課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：衣生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	衣服素材の種類と特徴について学習する。 洗濯の種類と方法、洗剤のはたらきについて学習する。 被服製作実習を通して技術を身に付ける。	○	○	○	6
	単元名・・・食生活と健康 【知識】：自分の食生活の管理に必要な技能を身に付けている。 【思考】：食生活の課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：食生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	食生活と健康の関係について学習する。 5大栄養素の特徴について理解し、からだのつながりについて考える。 食中毒の種類や予防法を理解する。 食事摂取基準を理解し、何をどれくらい食べるのか理解する。 調理実習	○	○	○	25
	定期考査		○	○		1
3 学 期	単元名・・・生活における経済計画 【知識】：家計管理について理解している。 【思考】：生活の課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	家計の構成（収入・支出）を学習する。 生涯を見通した経済計画と管理について学習する。	○	○	○	4
	単元名・・・消費行動と意思決定 【知識】：消費生活の現状と課題について理解している。 【思考】：生活の課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	契約や主体的な消費行動について学習する。 たような販売方法や問題商法について、対処法等を理解する。 多様化する支払い方法や多重債務について、対処法等を理解する。	○	○	○	10
	定期考査		○	○		1

## 東京都立橋高等学校令和5年度 公民科 公共 年間授業計画

教科：公民科 目：公共 単位数：2単位

対象学年組：第2学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（第一学習社『高等学校 新公共』）

使用教材：（第一学習社『クローズアップ公共』）

教科の目標：自分自身のあり方・生き方や現代社会の諸課題について理解し、平和で民主的な国家や国際社会のあり方を考える。

【知識及び技能等】（現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。）

【思考力・判断力・表現力等】（現代の諸課題について事実をもとに知識・技能を活用して多面的・多角的に考察し、表現することができる。）

【主体的に学習に取り組む態度】（現代社会の諸課題に関心を持ち、主体的に議論や学習活動に参加している。）

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解できる。	現代の諸課題について事実をもとに知識・技能を活用して多面的・多角的に考察し、表現できる。	現代社会の諸課題に関心を持ち、主体的に議論や学習活動に参加している。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学 期	<b>単元名</b> ・・・社会に生きる私たち <b>【知識】</b> ：社会に参画する主体として必要な基本的知識や概念を理解する。 <b>【思考】</b> ：青年期における自己のあり方や社会とのかかわり方について考察し、自分の考えをまとめることができる。 <b>【態度】</b> ：積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えをもちようとしている。	「青年期を生きる私たち」 「個性の形成と自主・自立」 「日本人の伝統意識」	<b>【知識】</b> ：定期考査 <b>【思考】</b> ：ワークシートの記述 <b>【態度】</b> ：提出物	○	○	○	8
	<b>単元名</b> ・・・人間と社会のあり方についての見方・考え方 <b>【知識】</b> ：「幸福」「正義」「公正」について、先哲の様々な考えかたを理解する。 <b>【思考】</b> ：実社会の事例をもとに、知識・技能を活用して自分の考えをまとめることができる。 <b>【態度】</b> ：積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えをもちようとしている。	「先哲はどう考えたか」 「将来世代に受け渡したい環境」 「生命倫理をめぐる問題」	<b>【知識】</b> ：定期考査 <b>【思考】</b> ：ワークシートの記述 <b>【態度】</b> ：提出物	○	○	○	6
	<b>単元名</b> ・・・公共的な空間における基本的原理 <b>【知識】</b> ：公共的な空間における基本的原理を理解する。 <b>【思考】</b> ：先人たちの取り組みを踏まえて、公共的な空間を形成するために必要な基本的原理について考察している。 <b>【態度】</b> ：積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えをもちようとしている。	「人間の尊厳と平等、個人の尊重」 「民主主義と法の支配」 「自由・権利と責任・義務」 「日本国憲法に生きる基本的原理」	<b>【知識】</b> ：定期考査 <b>【思考】</b> ：ワークシートの記述 <b>【態度】</b> ：提出物	○	○	○	10
2 学 期	<b>単元名</b> ・・・法的な主体となる私たち <b>【知識】</b> ：法や規範に基づく紛争解決の手段とその意義について理解する。 <b>【思考】</b> ：身のまわりの諸問題について知識・技能を活用して解決のしかたを考え、表現することができる。 <b>【態度】</b> ：積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えをもちようとしている。	「法とは何か」 「憲法と基本的人権」 「契約と消費者の権利・責任」 「司法参加の意義」	<b>【知識】</b> ：定期考査 <b>【思考】</b> ：ワークシートの記述 <b>【態度】</b> ：提出物	○	○	○	11
	<b>単元名</b> ・・・政治的な主体となる私たち <b>【知識】</b> ：民主政治を維持・推進するために必要な基本的知識について理解している。 <b>【思考】</b> ：民主政治において主権者として求められることについて考え、まとめることができる。 <b>【態度】</b> ：積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えをもちようとしている。	「政治参加と公正な世論形成」 「日本の安全保障と防衛」	<b>【知識】</b> ：定期考査 <b>【思考】</b> ：ワークシートの記述 <b>【態度】</b> ：提出物	○	○	○	6
	<b>単元名</b> ・・・経済的な主体となる私たち <b>【知識】</b> ：公正かつ自由な経済活動を行う上で必要な基本的知識について理解している。 <b>【思考】</b> ：現代経済の課題について知識・技能を活用して考察し、表現することができる。 <b>【態度】</b> ：積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えをもちようとしている。	「経済とは何か」 「社会の変化と職業観」 「市場経済の機能と限界」	<b>【知識】</b> ：定期考査 <b>【思考】</b> ：ワークシートの記述 <b>【態度】</b> ：提出物	○	○	○	10
3 学 期	<b>単元名</b> ・・・持続可能な社会づくりの主体となる私たち <b>【知識】</b> ：現代社会が抱える諸課題について理解している。 <b>【思考】</b> ：現代社会の諸課題について、これまでの学習を踏まえて解決策を考え、表現することができる。 <b>【態度】</b> ：積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えをもちようとしている。	「排出権取引を考える」 「ベストミックスを考える」 「ゲノム編集を考える」 「インターネットによる投票を考える」 「フェアトレードを考える」	<b>【知識】</b> ：定期考査 <b>【思考】</b> ：ワークシートの記述 <b>【態度】</b> ：提出物	○	○	○	14
	定期考査			○	○		

